

▶ OPINION TCSA NEWS 100 号発行に寄せて

TCSA NEWS 誕生の背景

今から35年程前に発足した、任意団体であった「添乗サービス協会」が、JATA と同じ土俵で話をするためには先ず、法人格を得ねばなりませんでした。ところが、当時の運輸省観光部の公益法人設立許可申請の窓口は非常に厳しく、会員数が少数であること、添乗業務の位置付けが不明確であること、資金が脆弱であること等々を理由に行政指導すら望めませんでした。そこで、かつて運輸省観光部長も務められた初代 TCSA 木村睦男会長に相談したところ、業界内外の有識者に先ず、協会の存在を認知してもらう手段として協会からの情報誌「TCSA NEWS」を発行したらどうかとアドバイスを受けてました。そこで、誕生したのが TCSA NEWS です。

TCSA NEWS 第一号 昭和 61 年 (1986 年) 6 月発行

創刊号の表紙には木村睦男初代会長の挨拶文及び TCSA 第 5 回通常総会後の懇親会に出席された JATA 兼松学会長、JNTO 住田俊一会長、KNT 明石孝社長、辻宏邦運輸省観光部長、寺島紘士旅行業課長等の歓談写真が掲載されています。「TCSA NEWS 創刊おめでとう！」と題した見開きページには表紙に登場の方々をはじめ、日本空港ビルデング (株) 高橋寿夫社長、(株) 日本交通公社杉野精一専務取締役、東急観光 (株) 森垣常夫社長、旅行開発 (株) 野原克也社長、(株) 阪急交通社吉田茂男社長等々当時、一世を風靡された方々からの祝辞が寄せられています。

協会活動の理解を求めて

任意団体であった当時の正会員は 19 社でしたが、協会事業の支援を求め賛同していただけた個人会員は 122 名、法人賛助会員は 20 社でした。

財政事情から高額な宣伝費はかけられない上、広報担当の専門人材を雇う余力も無い中で素人手作りの TCSA NEWS だけが協会唯一の広報媒体でした。宣伝費がかけられない小規模な協会の存在とその使命を認めていただきサポートを得るには環境整備が必要でした。そこで、業界内外の影響のある方々に登場していただくオピニオン欄、TOP Interview 欄を設け協会活動への理解を求める手段としたのでした。通常、なかなか時間を割いていただけない方々もご本人の記事が掲載されている媒体なら手に取っていただけるのでした。また、業界有識者が載っている TCSA NEWS を持参し協力をお願いに上がると多くの方々に応援していただきました。こうして協会唯一の情報発信誌は 34 年間で 100 号を記録したのです。感慨無量であるとともに多くの方々にご無理をお願いし、貴重な時間を割いていただいたことに今も心より感謝の気持ちでいっぱいでございます。

※記事内の固有名詞、肩書、社名等は第一号発刊当時のものである。

一般社団法人日本添乗サービス協会
会長 三橋 滋子



CONTENTS

OPINION ————— 1

TCSA NEWS 100 号発行に寄せて
一般社団法人日本添乗サービス協会
会長 三橋 滋子

特集 ————— 2

コロナ禍における TCSA 会員の
現状及び添乗員の思い

TCSA REPORT ————— 6

ツアーコンダクター・オブ・ザ・イヤー 2020
受賞者決定

「労働者派遣事業者」
「職業紹介事業者」に対する許可有効期間の
更新申請に関する特例措置が設けられました

TCSA だより ————— 8

2020 年度国土交通大臣表彰
2020 年度運輸局長表彰
TCSA 事務局が移転しました

特集！

コロナ禍における TCSA 会員の 現状及び添乗員の思い

(一社)日本添乗サービス協会正会員会社に所属する添乗を主たる業務としている添乗員（以下「専門添乗員」）の多くは登録型で時給をベースに給与が支払われるので、添乗が無いと収入もない生活を余儀なくされている。

新型コロナウイルス感染症で緊急事態宣言が出された4月からの業務停止状態の中、会員会社が講じた対策についてを、また、専門添乗員は何を思い、どんな日々を過ごしているのかを、本音で語ってもらった。

▶ TCSA 正会員は国の融資制度や助成金・給付金を最大限活用

TCSA 正会員は事業を継続させ、添乗員の雇用を維持するため、国の制度を最大限活用している。TCSA が行った調査では、回答のあった9割以上が「持続化給付金」等の申請をし、約半数の会員が国の融資制度等を活用して何とか事業継続に向けて努力している。

「雇用調整助成金」に関しては、当初登録型の専門添乗員は雇用の継続が判断できないとの理由で対象外となっていたが、協会の強力な働きかけにより専門添乗員も対象に含まれることとなり、現在ではほとんどの TCSA 会員が雇用調整助成金及び添乗員個人で申請する休業支援金を活用しながら事業回復時に備えている。

雇用調整助成金が2021年2月まで延長されたが、3月以降も業界の先行きが不透明であることから協会は、更なる適用期間の延長を関係先に対し強力に要望しているところである。

▶ GoTo トラベルにより国内添乗が動き出し添乗員不足発生

今年7月よりGoToトラベル事業が実施され、10月より東京も対象地域となったことから、国内ツアーが少し動き出した。

しかしながら、主な利用者は個人旅行で、団体旅行は例年に比べると減少している。また、ツアーが土日休日に集中していることから、一時的に添乗員が不足する事態が発生している。コロナ禍でこの業界を去ってしまった添乗員もいることから、添乗員のアサインに苦慮している会員会社もあると報告されている。

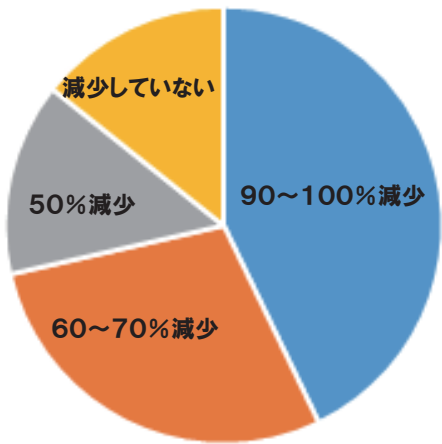
コロナウイルスの感染拡大により、GoToトラベルの一部除外等が国で検討されているところであるが、添乗派遣業界は、旅行会社が添乗員同行ツアーを造成してはじめて成り立つ業界であるため、この事業については、感染予防には最大限配慮しつつ、今後も継続して欲しいと強く願っている。

▶ 添乗員は現在どのように生活しているのか

TCSA では、コロナ禍で添乗の仕事が激減している添乗員の中で、この業界を去ることなく、添乗再開に向けて頑張っている生活している添乗員 7 名にヒアリング調査を実施した。

コロナ発生後の添乗業務の減少率

※2020 年 11 月時点



仕事が減少している中、現在どのような生活をしているか

添乗員	属性	回答
添乗員 A	国内専従、添乗経験 18 年	当初 2 ヶ月程は仕事らしい仕事は何もせず過ごし、3 ヶ月目以降コールセンターのアルバイト
添乗員 B	海外専従、添乗経験 30 年	半年間は働かず、10 月中旬から国内添乗に従事
添乗員 C	国内・海外従事、添乗経験 2 年	別の仕事はせず、株式運用やメルカリ等お金の稼ぎ方を新規開拓。その他の時間は海外添乗の目的地等自己研鑽
添乗員 D	国内・海外従事、添乗経験 2 年	所属会社から紹介された家賃支援給付金のサポート会場の勤務や GoTo トラベル事務局での内勤、その他アルバイト
添乗員 E	国内・海外従事、添乗経験 15 年	4 月～7 月は別の派遣業務。それ以降は自宅待機
添乗員 F	国内・海外従事、添乗経験 4 年	GoTo トラベル事業実施後は国内添乗に従事
添乗員 G	国内専従、添乗経験 15 年	全く違う職種でアルバイト

この状況下において、添乗員生活を継続している一番の理由

- ・添乗という仕事は日々違う環境でたくさんのお客様との関りが持て、刺激的な毎日を送ることができる。そんな毎日が好きで、添乗という仕事を継続したい。
- ・この仕事が好きであることに尽きる。いろいろな場面において感動できる仕事だから。
- ・前職を経験後、「自分の好きなこと」をやると添乗業界に飛び込んだ思いがあるため。本当に金銭面で立ち行かなくなるまでは好きなこの仕事を続けていきたい。
- ・大好きな仕事がコロナ禍でできなくなってから気づく、やりがいやお客様との楽しい思い出、添乗員仲間との一つのツアーを作り上げた時の達成感、これらを添乗業務が再開したらもう一度味わいたくて、今ここで辞めようとは思わない。
- ・添乗員の仕事に魅力を感じていることと、次から次に学ぶべきことがたくさんあり、まだそれらの知識欲を満たしていない、やり切っていないという思いがあるから。
- ・長年やってきて、初めは好きで始めたこの仕事。今では仕事が楽しくて、お客様が楽しんでお帰りになる姿を見るのが1番の喜びであることが添乗員生活を継続している理由。

今後の添乗業務の再開に向けて行っていること

- ・添乗に役立たせるため、今まで読もうと思って先送りになっていた各地の文豪の書籍を読んでいる。
- ・この機会に語学やパソコンのスキルアップを図っている。
- ・いつ添乗が再開してもいいように、各目的地についての勉強や添乗用具の整備。
- ・体力づくり
- ・コロナウイルス感染予防の徹底。
- ・コロナ禍での添乗先の変化についての情報収集
- ・自分に付加価値を付けるための資格取得や語学の勉強。
- ・お客様目線を持つために「日常を丁寧に暮らす」ように努める。
- ・国内外の歴史についての深堀り
- ・生活のため別の仕事をしているが、添乗が入ればすぐに休みを取ることが可能な仕事に従事

このように、今般のコロナウイルス感染症の影響を大きく受け、添乗の仕事がなく、固定給もないため非常に厳しい生活を強いられている添乗員。

他業種に転職する添乗員もいる中、今回回答してくれた添乗員は、例え収入減になってもアルバイトをしながら添乗業務再開に向けてできる準備を行い、日々スキルアップのための努力をしていることが伺える。

コロナ禍においてこれだけ添乗という仕事に対して高いモチベーションを維持しているのは、「この仕事が好き」、「やりがいを感じている」という思いに他ならない。

添乗員だけではなく観光業界全体が大打撃を受け厳しい状況が続いているが、このような意識の高い添乗員を大切にすることが、ひいては旅の付加価値を高めることにつながるため、添乗派遣業界だけの問題ではなく、旅行業界全体の問題として捉え、現場で日々奮闘している添乗員の現状を理解し、一人一人の添乗員を大切にして欲しいと考える。

協会としても多くの優秀な添乗員が安心して働ける環境づくりに引き続き尽力していきたいと考えている。

ツアーコンダクター・オブ・ザ・イヤー 2020 受賞者決定

2020 年度の「ツアーコンダクター・オブ・ザ・イヤー」の受賞者が決定しました。

受賞された添乗員の皆さん、この度の受賞本当におめでとうございます！

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、例年行っている「ツーリズムEXPOジャパン」での表彰式は開催しませんでした。後日、観光庁にて開催する予定です。



グランプリ（国土交通大臣賞） 奥田 美穂さん
（株）ティーシーエイ 所属

オーストラリア滞在、バックパッカー等を経験後、添乗員資格を取得し添乗業務に従事。クルーズアドバイザー認定、クルーズコンサルタント資格を取得し、現在はクルーズツアーを中心に添乗。2020 年 1 月のダイヤモンド・プリンセス号のクルーズ添乗中、新型コロナウイルスの集団感染が発生。今回の感染症についてはいち早く感染者の情報等をお客様に伝達し注意を促した。添乗員本人も自分の健康状態を不安に感じる中で、毎日お客様へ体調等を気遣う連絡をこまめに行い、少ない情報の中で不安が募るお客様に正しい情報を伝える努力を惜しまず業務に従事。船内待機となった後、下船日が予定よりも 7 日間遅れたが、その後全員無事に下船することができた。下船後もお客様へ電話を入れ、体調不良等出ていないか等、ツアー終了後もケアを行った。今回のツアーでお客様へ安心感を与えた点等が評価され、主催旅行会社からも表彰を受けた。



準グランプリ（観光庁長官賞） 清川 文子さん
（株）読売旅行 所属

大学時代のテニスサークルで培ったリーダーシップと海外留学で磨き上げた語学力を活かせると考え同社の専属添乗員として添乗業務を開始。2020 年 3 月新型コロナウイルスが徐々に猛威を奮い始めていた中、「南米 4 ヶ国 6 大世界遺産めぐり 12 日間」に添乗。リマでのツアー最終日の夕食中に「3 時間後の午前 0 時をもって外出を禁止する」とペルー大統領の声明が発せられた。本ツアーの帰国便の出発が午前 1 時 25 分であったことから搭乗できない可能性もあると考え、夕食を中断しリマの空港に向かうと同時に最悪の事態も想定し準備を怠らなかったが、何とか間一髪でペルーを出国することができた。乗り継ぎ空港では入国審査の混雑により予定していた成田便に間に合わなかったが、事前に空港スタッフと交渉を進めていたこともありスムーズに後続の羽田便に搭乗し 6 時間遅れで日本に到着することができた。多少の遅延で無事に帰国することができたが、そこに至るまでは清川添乗員の事前準備をしっかりと行ったことが大きなトラブル回避につながったことを評価し準グランプリの受賞となった。



選考委員会委員長賞 岸 繭美さん
（株）JTB 所属

2019 年 10 月に発生した台風 19 号の影響で成田空港・羽田空港が閉鎖される中、当該添乗員は 11 日間のカナダツアーに添乗中で、空港閉鎖による帰国便の欠航や航空会社のシステム不具合等も重なり、最終宿泊地のカルガリーに 5 延泊せざるを得なくなった。お客様は帰国が大幅に遅れることや延泊の費用負担等、不安が大きく募る中、添乗員はお客様一人一人の意見に耳を傾け、気持ちに寄り添いながら延泊中の過ごし方を提案。延泊中にバンクーバーへの 2 泊 3 日の小旅行や添乗員お薦めのレストランを紹介する等、トラブルを逆手に取ったツアーの味付けを行うことでお客様の不安を取り払うことができ、帰国後、お客様からの感謝の言葉を多数いただいた。



日本添乗サービス協会会長賞 水谷 由佳さん
(株)TEI 所属

2020 年 3 月、北欧 14 日間のツアーに添乗中、途中 7 日間の船旅の予定であったが、ノルウェー政府から日本をコロナによる 14 日間隔離対象国とし、日本人は乗船できないことが発覚。対象国から外れた翌日別の場所から乗船できることが判明し移動したが、出発が翌朝となること、乗船できる船が観光船ではなく貨物輸送船であることが判明したことから、日本の企画担当者に連絡し、クルーズ費用の全額返金の確認を取り付けた。失意のツアー参加客にせめてオーロラだけでも見ていただきたい一心で、オーロラの有名観光地ロバニエミで連泊しオーロラを見ることができた。ノルウェー政府からの 14 日間軟禁状態になることを避けるため、陸路で空港を目指し、コロナによる航空機の運航停止となる直前に帰国便に搭乗することができた。予期せぬトラブルにも長年の経験により的確な判断を下した仕事振りからお客様からも高い評価をいただいた。



優秀賞

渋谷 隆之介さん	(株)J&Jヒューマンソリューションズ 所属
大林 良子さん	(株)フォーラムジャパン 所属
加藤 幸子さん	(株)ジャッツ 所属



特別賞

菅谷 真弓さん	(株)ジャッツ 所属
---------	------------



奨励賞

世界一周クルーズ 4 名	(株)J&Jヒューマンソリューションズ 所属
関口 久仁子さん	(株)J&Jヒューマンソリューションズ 所属
中野 久美子さん	(株)J&Jヒューマンソリューションズ 所属
大山 晴美さん	(株)J&Jヒューマンソリューションズ 所属
渡辺 寿子さん	(株)J&Jヒューマンソリューションズ 所属
加藤 妃呂美さん	(株)トップ・スタッフ 所属
北橋 真理さん	(株)ツーリストエキスパーツ 所属
森 美恵子さん	(株)ツーリストエキスパーツ 所属
岡田 正幸さん	(株)ツーリストエキスパーツ 所属
引口 清種さん	(株)ツーリストエキスパーツ 所属
粟屋 潤さん	(株)ジャッツ 所属
工藤 俊夫さん	ANAセールス(株) 所属

「労働者派遣事業者」「職業紹介事業者」に対する許可有効期間の更新申請に関する特例措置が設けられました

新型コロナウイルス感染拡大による影響を受けた「労働者派遣事業者」及び「職業紹介事業者」に対して、許可有効期間更新時における財産的基礎要件の確認方法について特例が設けられました。

当該事業者の皆様は確認の上、許可更新の対応をしてください。

特例対象となる事業者

以下の(1)(2)(3)のすべてに該当する事業者が、特例の対象となります。

- (1) 最近の事業年度における決算書等または最近の事業年度終了後の月次決算や中間決算等では財産的基礎要件が満たせないこと
- (2) 許可有効期間更新申請書の提出期限が、**令和2年10月末日から令和4年3月末日までの間**であること
- (3) 許可有効期間更新申請書の添付書類として提出する最近の事業年度における決算書等について、その**最近の事業年度または所得税の確定申告の対象となる期間（以下「事業年度等」）に令和2年1月24日以降の日付が含まれること**

特例における財産的基礎要件の確認書類

- ・ 最近の事業年度等に、令和2年1月24日以降の日付が含まれる場合
 - 以下のいずれかの書類で確認が可能です。
 - ・ 最近の事業年度の1つ前の事業年度の決算書等
 - ・ 最近の事業年度の中間決算や月次決算等
 - ・ 最近の事業年度等の1つ前の事業年度に、令和2年1月24日以降の日付が含まれる場合
 - 以下のいずれかの書類で確認が可能です。
 - (1) ・ 最近の事業年度の1つ前の事業年度の決算書等
 - ・ 最近の事業年度の中間決算または月次決算等
 - (2) ・ 最近の事業年度の2つ前の事業年度の決算書等
 - ・ 最近の事業年度の1つ前の事業年度の中間決算または月次決算等
- ※ (1) の書類で財産的基礎要件を満たしていない場合は、(2) の書類で確認

最近の事業年度に、令和2年1月24日が含まれる場合



最近の事業年度の1つ前の事業年度に、令和2年1月24日が含まれる場合



許可の有効期間の更新日の1年後までに財産的基礎要件を満たすこと

特例適用に当たっての留意事項

・ この特例を適用する場合、許可の有効期間の更新日の1年後までに財産的基礎要件を満たす必要があり、以下の書類が必要となります。

【許可有効期間更新申請書提出時】

・ 許可の有効期間の更新日の1年後までに財産的基礎要件を満たすための事業計画

【許可された有効期間の更新日の1年後から1か月以内（以下のいずれかの書類）】

- ・ 許可の有効期間の更新申請後に終了する事業年度等の決算書等
- ・ 許可の有効期間更新申請から許可の有効期間の更新日の1年後までの間の中間決算または月次決算等

・ 上記書類で財産的基礎要件を満たすことの確認ができない場合は、許可取消の対象となるので十分ご注意ください。

2020 年度国土交通大臣表彰

TCSA 会長表彰及び運輸局長表彰を受賞し、かつ、添乗経験が 37 年以上、5,000 日以上で 55 歳以上の方が対象となっている国土交通大臣表彰に 3 名の方が受賞されました。

当初 2020 年 4 月に表彰式を開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により延期となっておりますが、この度の受賞、誠にありがとうございます。

樋口 進 さん (株) ヒト・コミュニケーションズ所属 46 年 8,557 日

濱田恵美子さん (株) TEI 所属 39 年 6,060 日

鶴崎由美子さん (株) TEI 所属 38 年 6,331 日

※勤続年数及び日数は 2020 年 4 月現在

2020 年度運輸局長表彰

2020 年度各地域の運輸局長表彰に以下の方が受賞されました。
受賞おめでとうございます。

【九州運輸局長表彰受賞者】※勤続年数及び日数は 2020 年 6 月現在
狩集ひとみさん (株) ツーリストエキスパーツ所属 24 年 3,963 日

【近畿運輸局長表彰受賞者】※勤続年数及び日数は 2020 年 7 月現在
岩井 克浩さん (株) ツーリストエキスパーツ所属 22 年 4,303 日
川又裕美子さん (株) ツーリストエキスパーツ所属 25 年 4,534 日
福田奈奈緒さん (株) ツーリストエキスパーツ所属 24 年 4,093 日
増岡 朋哉さん (株) ツーリストエキスパーツ所属 24 年 4,269 日

【関東運輸局長表彰受賞者】※勤続年数及び日数は 2020 年 8 月現在
戸田由紀子さん (株) TEI 所属 31 年 5,673 日
石川富美子さん (株) TEI 所属 30 年 4,775 日

TCSA 事務局が移転しました

2020 年 8 月 28 日に TCSA 事務局が移転しましたのでお知らせいたします。

新事務所：〒140-0013 東京都品川区南大井 6 丁目 12 番 13 号 宇佐美大森ビル 9 階

電話番号 03 (6435) 1508 FAX 03 (6435) 1509

※電話番号、FAX 番号の変更はございません。

最寄駅：JR 大森駅北口から徒歩 6 ～ 7 分
(京浜急行大森海岸駅から徒歩 15 分)



〇〇〇〇編集後記〇〇〇〇

現地受け添乗の場合、事前アンケート用紙の体温欄に 37.5 度以上と記載された旅客の対応や、旅行開始後、ツアー参加客や添乗員自身が発熱した場合の対応等、派遣先旅行会社によって対応が異なり、未整備な点についてのコンセンサスづくりが急務と考える (S.M)

一般社団法人 日本添乗サービス協会
〒140-0013 東京都品川区南大井 6 丁目 12 番 13 号 宇佐美大森ビル 9 階
TEL (03) 6435-1508 ・ FAX (03) 6435-1509
E-mail tcsa@tcsa.or.jp
URL <http://www.tcsa.or.jp/>